

老子

2018 年追試

問 7 次の文章は、時間の本性に関するインドと中国の思想を説明したものである。

文章中の  ・  に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

インドにおいては、時間を一つの実体として捉える考え方がある一方で、時間には固定的な実体(自性)はないとする考え方もあった。とりわけ、ナーガールジュナ(竜樹)は、あらゆる存在は  関係にあることを説く縁起の思想に基づき、過去・現在・未来もまた  関係にあると主張し、大乘仏教の時間論に一つの方向性を与えた。

中国においては、時間の変化を陰と陽の交替で表す考えがあったが、その理論的基盤を提供した『易』は、儒教の経典の一つに数え入れられた。陰陽交替の考えは、無から有が生じ、有が無へと帰る永遠の運動を説く  の思想とも親和的で、後世に大きな影響を与えた。

- ① a 相互に依存する      b 墨子
- ② a 相互に依存する      b 老子
- ③ a 相互に否定し合う      b 墨子
- ④ a 相互に否定し合う      b 老子

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	17	②	3

2017 年追試

問 4 老子の説く「道」の説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 

14
----

- ① 万物を育みながら，その働きを意識したり，その功績を誇ったりすることのない，万物の母としての根本原理である。
- ② 人間の感覚や知性によっては把握できない，神秘的な宇宙の根本原理であり，名付けようがないため「無」とも呼ばれる。
- ③ 何もしていないように見えながら天地万物を生み出し，成長させ，秩序づける，無限の力をもつ根本原理である。
- ④ 宇宙や人間など万物を貫く様々な働きの根本原理であり，道德規範としての「礼」を必然的に規定するものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	14	④	2

2016 年追試

問 2 次のア～ウは、仁や義について論じた古代中国の思想家の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 12

ア 孔子は、肉親に対して自然に発する親愛の情を仁の根本においた。彼は、これを様々な人間関係に広げることのできる優れた人が為政者となれば、人民は為政者に感化され、国家がよく統治されると考えた。

イ 董仲舒は、他者を思いやる心と正義の実現を根本においた、仁義による王道政治を重視した。彼は、気質の性に起因する欲望を抑え、本然の性に回帰することが仁義を達成するために必要だと主張した。

ウ 老子は、儒家の説く仁や義などの徳は、人間が作為した相対的なものにすぎないと批判した。彼は、人々が、絶対的な道のはたらきに身をゆだね、あるがままに生きる小国寡民の政治を理想とした。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	12	③	3

2015 年追試

問 8 次のア～ウは，中国の思想家が述べた，あるべき実践や修養についての説明であるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 

18
----

ア 万物に恵みを与えながらそのことを誇らない水のように，世間的な欲望を抑え，謙虚に他者に接して生きるのがよい。

イ 自己中心的でわがままな欲望に流されることなく，社会的に通用している規範である礼に自覚的に従うのがよい。

ウ ものごとに内在する道理を正しく把握し，意識を集中させ，つつしみをもって振舞うのがよい。

- |   |   |    |   |     |   |     |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 老子 | イ | 孔子  | ウ | 朱子  |
| ② | ア | 老子 | イ | 孔子  | ウ | 王陽明 |
| ③ | ア | 老子 | イ | 韓非子 | ウ | 朱子  |
| ④ | ア | 老子 | イ | 韓非子 | ウ | 王陽明 |
| ⑤ | ア | 荘子 | イ | 孔子  | ウ | 朱子  |
| ⑥ | ア | 荘子 | イ | 孔子  | ウ | 王陽明 |
| ⑦ | ア | 荘子 | イ | 韓非子 | ウ | 朱子  |
| ⑧ | ア | 荘子 | イ | 韓非子 | ウ | 王陽明 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 8	18	①	3

2014 年追試

問 1 次の文章は、儒家の思想に対する他の思想家からの批判についての記述である。□ a □ ・ □ b □ に入れる人名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 □ 11 □

□ a □ は、儒家の礼や仁を人為的なものとして批判し、それらが不要ない社会こそ理想であると説いた。一方、□ b □ は、儒家の仁政という考え方を批判し、法による信賞必罰の仕組みでなければ統治はできないと説いた。

- ① a 韓非子      b 墨子
- ② a 韓非子      b 老子
- ③ a 墨子        b 韓非子
- ④ a 墨子        b 老子
- ⑤ a 老子        b 韓非子
- ⑥ a 老子        b 墨子

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	⑤	2

2013 年本試

問 7 下線部 g に関連して、秩序や規範に対する考え方をめぐって、中国においてなされた議論の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

18
----

- ① 韓非子は、人間の善意に基礎をおく儒家の仁愛の教えを批判し、法や刑罰によって社会秩序が維持されるべきだと説いた。
- ② 老子は、自他の分け隔てなく人を愛する墨子の兼愛説を批判し、兼愛による限り親疎の区別に基づく孝・悌が損なわれると説いた。
- ③ 荀子は、孟子の性善説を批判し、孔孟の徳治主義に対して、性悪説の立場から礼による人間の教化を目指す礼治主義を唱えた。
- ④ 王陽明は、朱子の説が世界を貫く規範である理を事物の内に求める傾向にあると批判し、理は自らの心の内にあると唱えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	18	②	3

2013 年追試

問 5 次のア～ウは、古代中国の思想家の自然観に関する説明であるが、それぞれ誰だれのことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。

16

ア 自然現象を、対立しつつ補完し合う陰陽と、すべての物質を構成する五行という概念によって説明し、さらに循環する五行の順序に従って王朝が変わるとい説を唱えた。

イ 宇宙の根源であり、万物を生み出す本質を道と名づけたうえで、人間はその道を模範として、作為的に振舞うことのない自然に従った生き方をすべきであると主張した。

ウ 万物の区別や差異は人間の視点に立った相対的なものにすぎず、本来はすべてのものが等しい存在であると説き、あるがままの天地自然に身を任せるべきであると主張した。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 鄒 | 衍 | イ | 老 | 子 | ウ | 莊 | 子 |
| ② | ア | 孫 | 子 | イ | 鄒 | 衍 | ウ | 老 | 子 |
| ③ | ア | 莊 | 子 | イ | 孫 | 子 | ウ | 鄒 | 衍 |
| ④ | ア | 老 | 子 | イ | 莊 | 子 | ウ | 孫 | 子 |
| ⑤ | ア | 老 | 子 | イ | 孫 | 子 | ウ | 鄒 | 衍 |
| ⑥ | ア | 莊 | 子 | イ | 老 | 子 | ウ | 孫 | 子 |
| ⑦ | ア | 鄒 | 衍 | イ | 莊 | 子 | ウ | 老 | 子 |
| ⑧ | ア | 孫 | 子 | イ | 鄒 | 衍 | ウ | 莊 | 子 |
| ⑨ | ア | 孫 | 子 | イ | 老 | 子 | ウ | 莊 | 子 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	16	①	3

2012 年本試

問5 次のア～エは、悪い行為の抑制方法について考えた中国の思想家たちの主張であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

ア 現実の人間は、本性としてそなわっている理が気によって妨げられているため、私欲が生じる状態にある。私欲が勝つと天理を滅ぼすことになるので、本性の涵養と事物の理の探究によって本来の理を発現すべきである。

イ 特定の人間のみを愛するとその人間だけの利益をはかるようになり、その結果、争いが生じる。それゆえ、正義を望む天の意志にかなうよう、人間は国や身分の違いを超えて分け隔てなく愛し合うべきである。

ウ 私的な欲望を増大させることは人間の最大の罪悪であり、戦争もまたここから生じる。それゆえ、争いのない平和な社会のためには、人がつくった道徳を排し、あるがままの素朴な生活に満足することが大切である。

エ 人間は利己的で打算的な存在であるため、社会秩序を志向するようにはできていない。道徳によって人間を善へ教化するのは幻想にすぎず、信賞必罰を旨とする法律と刑罰によって秩序を維持すべきである。

- |   |   |     |   |    |   |    |   |     |
|---|---|-----|---|----|---|----|---|-----|
| ① | ア | 朱子  | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子  |
| ② | ア | 王陽明 | イ | 墨子 | ウ | 老子 | エ | 荀子  |
| ③ | ア | 朱子  | イ | 墨子 | ウ | 老子 | エ | 韓非子 |
| ④ | ア | 王陽明 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子  |
| ⑤ | ア | 朱子  | イ | 孟子 | ウ | 老子 | エ | 韓非子 |
| ⑥ | ア | 王陽明 | イ | 墨子 | ウ | 孔子 | エ | 韓非子 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問5	8	③	3

2011 年本試

問 2 孔子が説いた「道」は，老子によって批判されているが，両者の「道」についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

6
---

- ① 孔子は，天下に秩序をもたらす道徳的な道を説いたが，老子は，それを作為的なものだと批判し，万物を生み育てる自然の根源としての道を説いた。
- ② 孔子は，万物を貫く理法としての客観的な道を説いたが，老子は，それを精神を疲労させるものだと批判し，心の本性に従う主体的な道を説いた。
- ③ 孔子は，子が親に孝の精神をもって仕えることを道としたが，老子は，それを差別的な愛だと批判し，自他の区別なく平等に愛することを道とした。
- ④ 孔子は，人間を処罰して矯正する礼や法を道としたが，老子は，それを人民に脅威を与えるものだと批判し，それらを捨てた自然の状態を道とした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	①	3

2009 年本試

問 7 老子が説く「争いを避ける生き方」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 万物を利し，常に人が嫌う低い地に行き，いかようにも対応することのできる水のような生き方
- ② 絶えず生滅変化し，あらゆるものを受け入れ，煩惱にまみれたものを浄化する川のような生き方
- ③ 人為をさしはさまず，無為自然の世界に遊び，何ものにも囚<sup>とら</sup>われない真人にならう生き方
- ④ 四季の循環をつかさどり，すべての人にその努力に応じた恵みをもたらす天の命に従う生き方

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	11	①	3

2008 年本試

問 3 司馬遷も伝記を書いている思想家に老子がいる。老子が説いた道についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 道とは人間の従うべき道德の規範であり、忠恕に基づいた礼の実践により体得されるものである。
- ② 道とは万物を生育する根源であり、絶えず移り変わる人間の幸不幸を超えた絶対的なものである。
- ③ 道とは万物を貫いている理法のことであり、天から我々に授けられた生まれながらの本性でもある。
- ④ 道とは差別がなく万物が齊<sup>ひと</sup>しい境地であり、自己の心身を忘れ去ることで体得されるものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	7	②	3

2007 年追試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。

弱さそのままに生きようとする思索もある。例えば、柔弱謙下を説いた  は、  
他者と争わず水のように柔軟に生きることを主張した。

- ① 墨 子    ② 韓非子    ③ 老 子    ④ 莊 子

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	5	③	2

2006 年本試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

不老長寿を理想とする道教では、活力ある若さの維持が求められ、老いは否定的に捉えられているかのようである。しかし道家の代表的思想家老子は、威厳ある白ひげの老人として描かれている。このように描かれる背景には、この姿が、世俗にとらわれず、 を説く賢者にふさわしいという考え方があることが見てとれよう。

- ① 天人相関                      ② 涅槃寂静  
③ 無為自然                      ④ 心齋坐忘

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	5	③	2

2004 年追試

問 7 老荘思想における「道」に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

8
---

- ① 「道」は万物の根源であり，天地に先立って生じ，感覚では捉えられず，言葉では表現できないものである。
- ② 「道」は物事の筋道であり，個物や事象の有り様を決定づけるものであるが，それ自体としては言葉で表現することはできない。
- ③ 「道」は事物の自然な姿のことであり，相対的で多様なものであって，言葉での表現を超越している。
- ④ 「道」は絶対無差別な根源的世界の真理を意味し，無為自然を体得した人間にしか言葉で表現することはできない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	8	①	3

2003 年追試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。

『老子』は、人間は自然に身を任せ、  をもつことによって初めて、道にか  
なった真実の在り方に復帰することができるかと教えている。

- ① 質実で剛健な心                      ② 誠実で正直な心  
③ 柔和で謙虚な心                      ④ 知的で鋭敏な心

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	2	③	2

2002 年本試

問 3 老子に関する記述として最も適当なものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

4

- ① 他者への親愛の情にもとづいて行為することが，人間社会の理想であるとし，法や刑罰のみによって人民を統治することに反対した。
- ② 生があり死があるのは運命であり，両者を一体と見てありのままに受け入れるところに束縛からの解放があると考えた。
- ③ 水のように柔弱なあり方に従い，人からさげすまれる地位に甘んじてこそ，真の勝利者となることができると説いた。
- ④ 強盗殺人が不義である以上，他国を侵略して多くの人を殺すのはより大きな不義であるとして，侵略戦争を否定した。
- ⑤ 人に善があるのは，曲がった木が矯め木や蒸気でまっすぐになるのと同様に，後天的な矯正によるものであると主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	4	③	2

2001 年追試

問 4 インドや中国で生まれた思想に関連した思想についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 

5
---

- ① ウパニシャッド哲学は，輪廻の苦しみは欲望に基づいているとして，梵我一如を体得することによる解説を説いた。
- ② ナーガールジュナ（竜樹）は，自我への執着の虚しさ<sup>むな</sup>を説く無我の立場を徹底し，存在するすべてのものには実体がないという空の思想を展開した。
- ③ 老子は，無欲で謙虚な態度を保持するならば，万物を生み出す根源としての道を超えて自由に生きることができるとした。
- ④ ゴータマ・ブッダは，享樂的生活とそれを否定する苦行との両極端を退け，八正道の実践を説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	5	③	3